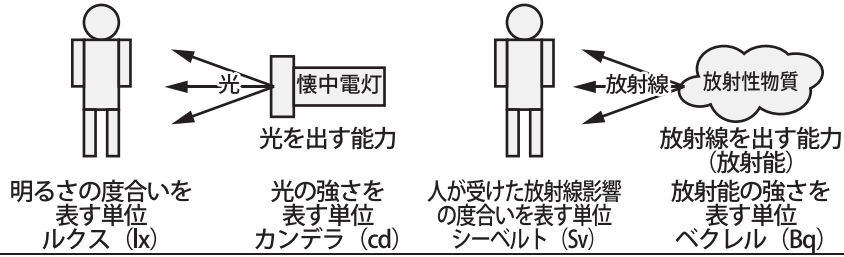


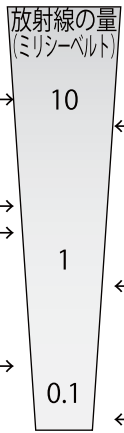
放射線と放射能の違い



日常生活と放射線

自然放射線

- ブラジル・ガラパリの放射線(年間) 10 →
- 1人あたりの自然放射線(年間・世界平均) 2.4 →
- (年間・日本平均) 1.5 →
- 《日本の内訳》
宇宙から(0.29)、食物から(0.22)
大地から(0.38)、空気の吸入から(0.59)
- 東京 - ニューヨーク航空機旅行(往復) 0.2 →
(高度による宇宙線の増加)

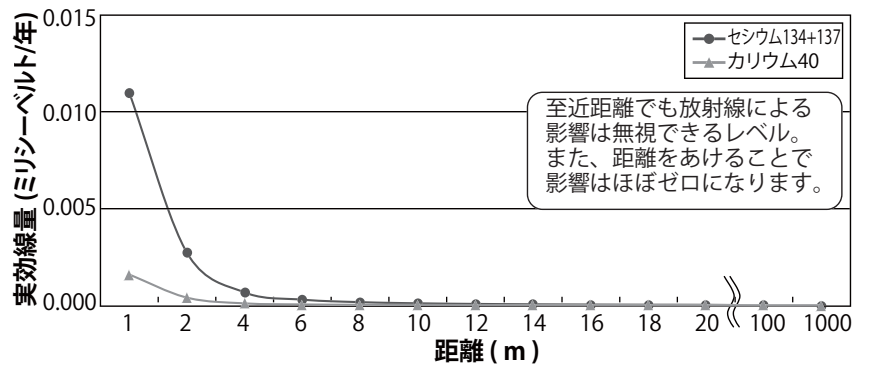


人工放射線

- 6.9 胸部X線コンピュータ断層撮影検査(CTスキャン)(1回)
- 0.6 胃のX線集団検診(1回)
- 0.05 胸のX線集団検診(1回)

※大気からの放射線は、三重県においては、三重県保健環境研究所(四日市市桜町)で測定されています。ちなみに、6月26日午前9時の1m地点の数値は、0.065マイクロシーベルト/時間で、年間に換算すると0.065×24×365≒569マイクロシーベルト/年≒0.57ミリシーベルト/年になります。

100Bq/kgの物1tからのからの放射線による影響



1トンの物が裸で置かれ、あいだに土、構造物、衣服などの遮蔽する物がない状態で、近くに年間1000時間立ち続けるという想定で計算した結果です。実際には、近づく時間が限られていたり、容器、土、構造物、衣類、その物自体など物質の中を通る間に放射線は弱くなりますので、実効線量は計算結果よりもはるかに少なくなります。

(*)IAEA-TECDOC-1162「放射線緊急事態時の評価及び対応のための一般手順書E1」の方法により、点源として試算。

	実効線量(ミリシーベルト/年)			
	1m	10m	100m	1000m
セシウム134+137	1.1×10^{-2}	1.0×10^{-4}	4.2×10^{-7}	6.6×10^{-13}
カリウム40	1.6×10^{-3}	1.5×10^{-5}	8.1×10^{-8}	1.8×10^{-12}

平成24年度 鈴鹿建設事務所管内亀山地区新規事業箇所



① 亀山停車場石水溪線(池の側橋) 橋梁耐震対策事業(西丸町) 橋梁の耐震補強に向けて、設計に入ります。



② 鈴鹿関線交通安全事業(天神) 右折ライン、歩道設置に向けて、測量、道路設計に入ります。



③ 棕川通常砂防事業(白木町) 山腹保護のための地質調査、測量設計に入ります。



④ 関大山田線災害防除事業(加太中在家) 法面保護のため、測量設計に入ります。



⑤ 河原谷川通常砂防事業(関町坂下) 土砂災害防止のため、地質調査、測量設計に入ります。



⑥ 国道25号災害防除事業(関町金場~加太北在家) 法面保護のため、測量設計に入ります。(箇所につきましては特定できませんので、図示していません)



※予定箇所付近の写真のため、ピンポイントの写真ではありません。

◆ 県政報告会を行っています

159回	03月31日	三寺町公民館	168回	05月26日	太田宮農研修センター	177回	06月16日	森公民館
160回	04月07日	井尻公民館	169回	05月27日	東野集会所	178回	06月16日	能褒野町公民館
161回	04月12日	弘法寺	170回	05月27日	みずけ丘道伯幼稚園	179回	06月17日	坂本生活改善センター
162回	04月14日	下庄集会所	171回	06月02日	栄町公民館	180回	06月17日	名越公民館
163回	04月15日	南鹿島公民館	172回	06月03日	岩森公民館	181回	06月19日	みずぼ台集会所
164回	04月21日	小下町公民館	173回	06月03日	福德公民館	182回	06月23日	井田川地区北コミュニティセンター
165回	04月22日	川合町公民館	174回	06月09日	田村町公民館	183回	06月26日	柴崎公民館
166回	04月29日	井田川町公民館	175回	06月10日	長明寺町集会所			
167回	05月13日	和田団地集会所	176回	06月10日	ひとみヶ丘集会所			